

Profile 演奏者プロフィール

【ソプラノ】進元 一美



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院音楽研究科修了。在学中よりバロック音楽に興味を持ち、卒業後イギリス、イタリア、フランス各国で研鑽を積む。ヴィヴァルディ「グローリア」、ヘンデル「メサイア」、「エジプトのイスラエル人」、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等のソリストも務める。兵庫県立芸術文化センターにて全曲バロックプログラムによるリサイタルを行い、「柔らかに透明感のある美声と安定した歌唱」と好評を博す。バロックアンサンブルとの共演も含め、サロンコンサートやミュージアムコンサートに出演。現在、関西を拠点としバロック音楽を中心に演奏活動を行っている。

【リコーダー】井上 玲



大阪府生まれ。幼少より古楽に関心を抱き、8歳よりリコーダーを、11歳よりフラウト・トラヴェルソを始める。中学校在学中より受賞を重ね、東京大学文学部在学中の2019年、第32回国際古楽コンクール(山梨)にて第3位(第1位なし)を受賞。2021年にはドイツの第11回テレマン国際古楽コンクールにて第2位および聴衆賞を受賞。現在は東京藝術大学大学院に在籍すると同時に、活発な演奏活動を展開している。リコーダーを山岡重治、庄野龍夫の各氏に、またフラウト・トラヴェルソを前田りり子、庄野龍夫の各氏に師事。ケース・ブッケ、ペーテル・ファン・ヘイヘンの各氏をはじめとする内外の演奏家からの指導を受け、研鑽を積んでいる。

【ヴィオラ・ダ・ガンバ】吉田 一美



同志社女子大学音楽学部音楽学専攻卒業。在学中よりガンバを始め、西村喜子氏に師事。インスブルックサマーアカデミーにおいて、ヴィーラント・クイケン氏のマスタークラスを受講。上村かおり、平尾雅子、宇田川貞夫各氏に師事。現在はアンサンブルや通奏低音奏者として活動。同志社女子大学嘱託講師。

【オルガン】加藤 真子



同志社女子大学学芸学部音楽学科オルガン専攻で鷺淵紹子氏に師事。卒業後、ドイツのリューベック音楽大学にてマルティン・ハーゼルベック氏にパイプオルガンを師事し、ディプロマを取得。帰国後、京都コンサートホールでオムロンパイプオルガンコンサートや東梅田教会パイプオルガンミニコンサートに出演。歴史的オルガンの奏法や讃美歌奏法について木田みな子氏に師事。現在は同志社大学専従オルガニスト、同志社女子大学オルガニスト、日本キリスト教団京都丸太町教会オルガニストを務めている。ユビラテ奏楽者の会員。日本オルガニスト協会会員。



同志社京田辺会堂

同志社京田辺会堂は、同志社大学京田辺キャンパスにおける初めての宗教施設として2015年3月に献堂され、同志社や新島襄に関する資料の展示されるラウンジのある「光館(HIKARI-KAN)」と、チャペル・アワー等の行われる礼拝堂を含む「言館(KOTOBA-KAN)」から成ります。



パイプオルガン

2016年9月、礼拝堂にイェーガー&ブロンマー社(ドイツ)のパイプオルガンが設置されました。「ポジティブ」と呼ばれる小型のものですが、豊かな音色を礼拝堂に響かせます。

Access アクセス

コンサート当日は、「同志社クローバー祭(本学京田辺キャンパス内)」が開催されております。なお、キャンパス内に駐車場はございませんので、ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。

- JR学研都市線「同志社前」駅から徒歩10分
- 近鉄「新田辺」駅からバスで10分
- 近鉄「興戸」駅から徒歩15分
- 近鉄「三山木」駅からバスで7分

参照：<https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html>

■ キャンパスマップ

